

## 令和6年度1学期終業式

### ぼんじてってい 「凡事徹底」

いよいよ明日から夏休みが始まります。1年生にとっては中学校との違いに少し戸惑いを感じた1学期、2年生にとっては中堅の学年としての自覚が少しずつ増してきた1学期、3年生にとっては進路実現に向けて本格的に活動を開始した1学期だったのではないかと思います。

さて、今日は本校の教育方針「着実に努力」につながる、この四字熟語についてお話しをします。「ぼんじてってい」と読みます。中国語ではなく日本語です。イエローハットの創業者で「掃除の神様」と言われた鍵山秀三郎氏が、自著の中で『凡事徹底』という考え方を提唱しています。「凡事」とは「当たり前のこと」という意味です。鍵山氏の言う「凡事徹底」とは、当たり前のことを当たり前実践するということを更に発展させ「平凡なことを非凡なほどに実行する」つまり「他の人には真似できないほど徹底的に実践する」ということです。また鍵山氏は「いままで誰にでもできる平凡なことを誰にもできないくらい徹底してやり続けました。そのおかげで平凡の中から生まれる大きな非凡を知ることができました」と言っています。何事も一時的・一過性の取組みなら誰でも実践できますが、それをやり続けるということになると、それなりの覚悟と努力が必要です。だからこそ、やり続けることができれば、それは大きな力となって「非凡」つまり簡単ではないこと、優れていることに繋がります。皆さんも誰にでもできる「凡事」の中の小さな良いこと、例えば、「ゴミを拾う。」「挨拶をする。」「身だしなみを整える。」「電車でお年寄りに席をゆずる。」等など、いつでもできる「凡事」を徹底して継続することで自分を成長させていくことができます。「継続は力なり」ですね。「凡事徹底」というお話でした。

最後になりますが、特に3年生は、自分の進路を決める人生でも最も大切な節目の時期です。後悔しないように精一杯悩み、精一杯最後の最後まであきらめず挑戦してほしいと思います。また、1・2年生は、自分の目標をどう設定すべきなのか、この時期から自分の進路についてよく考え、地道に努力を重ねてほしいと思います。

それでは、明日からの夏休み、暑い夏を乗り越え、迎える8月26日月曜日の2学期始業式の日、またここで今よりも一回りも二回りも成長した皆さんと再会できることを楽しみにしています。くれぐれも、けがや病気に気を付けて、熱中症等にならないようお互いに気を付けましょう。終わります。